



発見！実現！ 体験学習塾





塾長 吉田 伸吾

■塾長コメント■

まずは、“行動”を起こしていくこと。その大切さをあらためて感じた、一年間の活動でした。

私たちが塾活動の目的として掲げていることは、限られた一部の人だけの問題のように捉えられがちです。まして、「就労支援」のような実利的な成果が見えるものではない、「人生を価値的に生きる」という大きなテーマは、行政との協働を具体的に進めていくことの困難さを感じてきたところです。

そのような中であって、今年度「長崎伝習所」の塾の一つとして活動の機会をいただけたことに、心から感謝いたします。

「“不安”を“Fun（たのしみ）”へ」。私が長年、子どもや青年たちに伝えてきた言葉です。応募段階から今日に至るまでさまざまな不安はありましたが、具体的にアクションを起こし取り組んでいく中でそれらがたのしみやみんなの笑顔に変わり、それぞれの変化・成長につながったことを実感しています。

長崎のマイナス要素や現状を嘆くだけでなく、「では、どうすればいいのか？」を考え行動しながら、「長崎のまち」「身近な人たち」そして「自分自身」のステキなところを見つけ好きになれるような、前向きなエネル

ギーを持った“魅力的な人たちに溢れたながさき”を創っていきたいと願っています。

■塾の目的■

「生きづらさ」を感じている青少年が、個々の興味や長所を生かしながら、地域社会の一員として生活していくための体験と出会いの機会を創る。そのために、個々のニーズの把握や、それに応えうる場所や人とのマッチング、人間関係を育むための活動などを実施し、それぞれが「自己実現」をしていくための契機づくりとフォローアップ、ならびにそのご家族へのフィードバック・サポートを行う。また、ボランティアとして関わる学生・社会人も、併せて体験・成長の機会を持つことを目的として、本塾を実施する。

■塾の研究・活動内容■

- ①「生きづらさ」を感じている青少年、およびその保護者への呼びかけと、特性・ニーズの把握。
- ②上記のニーズに応えうる企業・団体等の発掘を行い、双方のマッチングの機会を設ける。
- ③参加者・ボランティアを含めた相互の人間関係を拡げ、深めていく場づくりと活動の実施。
- ④上記の①～③を企画・運営していくための、毎月2回のボランティアミーティングの実施。
- ⑤毎月2～3回の定例会および、夏期・冬期の長期休暇を活用した集中セミナー・実習の実施。
- ⑥塾活動を通しての、青少年やボランティアの変化・成長および地域の中にあるニーズと現状の理解促進のための報告書や提言の作成。

■ 塾活動の成果 ■

本塾では、さまざまな実体験を通し、参加する各人が以下のステップの「成長・変化」を得られることを願い、活動を行ってきました。

- ①自分が好意を持てる人や、好きな（興味を持てる）こと・ものと出逢う。＝他者受容
↓
- ②自分自身の素敵などところを見つけ、「あるがまま」の自分を受け入れる。＝自己肯定
↓
- ③他の人から愛され、また自分自身も自らを認められる生き方・状況を創る＝行動変容

ひとりひとりが、塾活動をたのしみながら、自分の中に本来ある宝物を「発見」し、想いや願いが「実現」していく「体験」の場となるように。

その「目的」を達成していくための「手段」として、以下の ①体験学習 ②グループワーク ③ファシリテーション のアプローチに留意し、種々の活動を実施しました。

「体験学習」とは？

学習者自身が自らの体験を学習のベースとして、自己、他者、それらの関わりなどの気づきを通して学ぶ（成長・変化する）、学習者中心（主体）の教育の方法。知識の蓄積ではなく、「学び方を学ぶ学習」。伝統的な知識教育（概念学習）が魚を求めている人に「魚を与える」学習であるとすれば、体験学習は、「魚の釣り方」を学ぶ学習である。

体験（する） → 指摘（みる・体験の内省と観察） → 分析（考える・一般化する） → 仮説化（わかる） → 試行（再・体験） の

循環過程を生活の中でも意識することにより、感受力・思考力・応用力・行動力を培い、問題解決能力（生きる力）の育成を促す。

「グループワーク」とは？

各人の個性の発揮・参加者相互の関係促進等の為に、意図的に個人・グループに働きかけ、グループを「作用」させること。グループで同じ行動をすることを求める、「グループ活動」とは異なる。

「ファシリテーション（援助促進）」とは？

広い意味での学習（生き方）を援助促進すること。表面的なコンテンツ（内容・課題）ではなく、プロセス（関係的過程）に「ファシリテーター」が以下の点に留意して関わる。

- ①相手（個人・グループ）中心 → 「押しつけ」をしない
- ②個の尊重 → 相手が自身で自らの個性・能力を引き出せるように
- ③非評価の姿勢 → 良し悪しで見て相手を防衛的にせず、あるがままに受容する
- ④非操作 → 自分の意図・期待に相手を導くのではなく、本人が望む方向を見つけ出せるように
- ⑤ともにあること → 共感的存在、相互依存

以上を見て解るように、ファシリテーションは単に専門的なものだけでなく、人間関係の改善や住みよい社会の変革への、基本的な概念と言える。

後述の一年間の活動を通して、自他の受容・肯定の度合いやお互いの関係性の、「変化・深まり」を見ることができました。

塾活動の今後に向けて

年間を通して、前述のように段階的な活動を積極的に実施しました。基本的な活動の進め方は、「体験→ふりかえり・プランニング→体験…」という“循環”を繰り返してきました。

その積み重ねの中で、個々の「Wants」や「Needs」をお互いに（各人が自分自身のこととあらためて）知ることができ、各々の願いを叶えるために、どのようなステップが必要かを考えながら進めてきました。

◆『定例会』の活動の様子



そのような経緯から、一年間活動の集大成である、「長崎伝習所まつり」は、別頁のように個々の希望や持ち味に応じた内容とし、「プロセス」に重点を置きながら、各塾生とやりとりをしてきました。

まつりという、多くの人と接する「具体的な」機会があったことは、頭で考える・話しをするだけでは不十分な、「行動の変化」につながる大きな契機となったと感じています。

この塾の活動の大きなテーマとして、各人の「セルフエスティーム（自己肯定感＝“あ

るがまま”の自分を受容し認めること）」と、「セルフエフィカシー（自己効力感＝自分は“やれる”という予測および確信）」を高めるということがあります。

◆『フィールドワーク』の活動の様子



一年間の活動を通して、「自他の受容・肯定」という点においては、各塾生の中にポジティブな変化が生まれています。今後は、より日常生活の中に変化をもたらせるような、具体的な「行動・状況の変容」に至れるよう、各塾生本人はもとより、“地域”とつながり、課題やこのような体験の必要性を「発信」とともに、この塾の活動がそのような機会を得られる「場」を恒常的に地域の中に創っていく契機となるよう、取り組んでまいります。

◆『冬期セミナー』の活動の様子



☆平成20年度「長崎伝習所まつり」当日のタイムテーブル☆

時間	A 君	B 君	C 君	D 君	E 君	F 君	G 君	H 君	I 君	J 君	K 君	L 君	M 君	N 君
9:30	★ピロティー★ 出店・フリーマーケットの準備					★ステージ★ 音響・照明確認				★体育館後方★ マット スクリーン アート			★ステージ★	フリー
10:00	★ステージ全員集合★ 打ち合わせ・ショーのリハーサル													
10:30	出店準備！					リハをうけての調整				各持ち場で準備			ステージ	フリー
11:00	* 開会式(11:00～) *													
11:30	必要であれば各持ち場で準備					終わり次第、舞台設置				必要であれば各持ち場で準備				
12:00	ステージショーをエンジョイ♪					♪ステージショー♪ (12:00～12:30)				ステージショーをエンジョイ♪			ステージショー (参加)	ステージ
12:30	出店準備							体育館後方にて サイン会 & 写真撮影		リラクゼーション① (12:30～13:30)	噴水スライドショー	仏像パフォーマンス	ピロティーのヘルプ →デュエル大会準備・運営	フリー
13:00	焼きそば	お好み焼き	フリマ	クレープ	綿菓子	クレープ	綿菓子	案内ヘルプ バルナード見学	休業見学	プレゼンタイム	午前中、または昼食後すぐに寺めぐりをする可能性あり			
13:30					デュエル大会準備				リラクゼーション② (14:30～15:30)			見学ヘルプ		
14:00	お好み焼き	はしまき	★多目的ホール★ ♪デュエル大会♪ (14:45～15:45)	見学ヘルプ										
14:30														
14:45														
15:00	* 閉会式(16:00～) *													
15:30	撤収作業 & ふりかえり													
15:45	解散													
16:00														
16:30														
17:00														
17:30														

平成20年度 「発見！実現！ 体験楽習塾」活動実績

日付	会議・イベント名	参加人数	内 容
5/14	ボランティアミーティング	6	活動の目的・内容や個々の近況等の確認・協議
5/17	フィールドワーク	14	日吉青年に家での親睦のレクリエーション・簡単な調理
5/21	ボランティアミーティング	6	活動の目的・内容や個々の近況等の確認・協議
5/29	定例会	10	人生ゲーム～「ライフプラン（将来展望）」作成①
6/4	ボランティアミーティング	6	活動の目的・内容や個々の近況等の確認・協議
6/11	定例会	13	人生7ならべ～「ライフプラン（将来展望）」作成②
6/14	フィールドワーク	14	マクガブ・ロープ氏展覧会観賞～各自の表現活動
6/18	ボランティアミーティング	6	活動の目的・内容や個々の近況等の確認・協議
6/25	定例会	15	自分クイズ大会～互いを知るレクリエーション
7/2	ボランティアミーティング	5	活動の目的・内容や個々の近況等の確認・協議
7/9	定例会	14	チーム協力ハルカゲーム～「しあわせの一番星」作成
7/16	ボランティアミーティング	6	活動の目的・内容や個々の近況等の確認・協議
7/19	フィールドワーク	18	日常につながる買い物・市民会館での調理体験
7/23	定例会	14	5W1Hゲーム～夏期セミナープランニング
8/12	ボランティアミーティング	9	活動の目的・内容や個々の近況等の確認・協議
8/20	ボランティアミーティング	8	活動の目的・内容や個々の近況等の確認・協議
8/28	夏期集中セミナー①	14	諫早運動公園でのチームスポーツ体験（野球）
8/29	夏期集中セミナー②	18	高島での釣り・海水浴等季節に応じた野外体験
8/30	夏期集中セミナー③	21	個々に一日の計画を立て行動～共有のミーティング
9/3	ボランティアミーティング	5	活動の目的・内容や個々の近況等の確認・協議
9/10	定例会	13	大富豪（プラスの循環）～相互ポジティブフィードバック
9/13	フィールドワーク	18	個々に一日の計画を立て行動～共有のミーティング
9/17	ボランティアミーティング	7	活動の目的・内容や個々の近況等の確認・協議
9/24	定例会	17	個々に興味活動・今後の計画立て～共有ミーティング
10/1	ボランティアミーティング	7	活動の目的・内容や個々の近況等の確認・協議

日付	会議・イベント名	参加人数	内 容
10/8	定例会	15	おくんち見学～グループワーク
10/15	ボランティアミーティング	7	活動の目的・内容や個々の近況等の確認・協議
10/22	定例会	14	伝習所まつりプランニング
10/25	フィールドワーク	22	個々に興味活動・今後の計画立て～共有ミーティング
11/5	ボランティアミーティング	5	活動の目的・内容や個々の近況等の確認・協議
11/12	定例会	14	グループワーク・レクリエーション～伝習所まつりプランニング
11/15	フィールドワーク	23	あぐりの丘（農場見学等）又はかきどまり公園での活動
11/19	ボランティアミーティング	4	活動の目的・内容や個々の近況等の確認・協議
11/26	定例会	14	グループワーク・レクリエーション～伝習所まつりプランニング
12/3	ボランティアミーティング	5	活動の目的・内容や個々の近況等の確認・協議
12/10	定例会	15	グループワーク・レクリエーション～まつり&セミナープランニング
12/13	フィールドワーク	24	個々に興味活動～グループワーク～まつり&セミナープランニング
12/17	ボランティアミーティング	4	活動の目的・内容や個々の近況等の確認・協議
1/5	ボランティアミーティング	9	活動の目的・内容や個々の近況等の確認・セミナー準備
1/6～7	冬期集中セミナー	21	長与町「つどいの家」を拠点としての共同生活体験
1/14	定例会	14	新春夢双六（目標確認）～まつり&2月活動プランニング
1/21	ボランティアミーティング	4	活動の目的・内容や個々の近況等の確認・協議
2/4	ボランティアミーティング	8	活動の目的・内容や個々の近況等の確認・協議
2/11	プレ伝習所まつり	24	現地（諏訪小）での伝習所まつりの予行演習・確認
2/15	フリーマーケット	19	不特定多数の人とのコミュニケーション&まつり出店の費用調達
2/18	ボランティアミーティング	8	活動の目的・内容や個々の近況等の確認・協議
2/25	定例会	15	伝習所まつり確認・調整・シミュレーション
3/4	ボランティアミーティング	11	活動の目的・内容や個々の近況等の確認・協議
3/6	伝習所まつり準備	17	メンバー・リーダー共に前日準備・最終確認
3/7	長崎伝習所まつり	30	個々に取り組んできたことの実践・発表（詳細別頁）
3/14	フィールドワーク	24	感謝パーティー・年間ふりかえり
3/18	ボランティアミーティング	5	年間評価 および 次年度活動についての協議

■塾生感想

①『自分らしさ』



副塾長 江頭雄一

「発見！実現！体験楽習塾」で過ごした1年間を振り返って、私が強く想ったことは『自分らしさ』ということです。『自分らしさ』を出すことができずに、社会の中で生きづらさを感じている人は多くいて、それは年齢や性、障がいの有無に関係ありません。

『自分らしさ』を出して生活することは、人が幸せを感じるために必要な要素の一つだと考えています。

『自分らしさ』を出すためには、いくつかのステップがあります。

体験楽習塾では、様々な場所で様々な活動をしてきました。創作芸術、料理、レクリエーション体験など。そのなかで自分以外の塾生のステキな一面を発見するとその人に関心をもち、活動を通して関係性を深めていくと、その人を受け入れられます。塾全体の雰囲気もそのようになっていくと、安心して、上手く言葉にできないのですが、自分の考えていることやしたいことを自然に出すことができます。そこでまた、周りからの反応を受けて今度は自分のステキなところを発見して、“自分は自分でいいんだ”と感ずることができるとかかと考えています。すると、また周りへの関心が高まり、自分に還っていく循環ができて、誰から教わるわけでもなく『自分らしさ』を自然と出していきます。

他者への関心から、今度は自分自身を受け入れる流れを、体験楽習塾ではレクリエーションやプランニングといった活動を通して体験することができました。まさに塾名にもある「体験→発見→実現→体験」の循環をして、日常で『自分らしく』生活して、自分も周りの人も楽しく過ごしていければとこの1年間で感じました。答えとしてはまとまっていませんが、『自分らしさ』とは周りを受け入れ、その中で自分を肯定していく中で自分自身が感ずることだと想います。来年度このような活動があれば参加して、今年度以上にみんなのことを好きになって、そして自分のことも受け入れて、楽しくて幸せな生活ができるようにしていきたいです。

②『発見』



東 基生

私は「発見！実現！ 体験楽習塾」に、「リーダー塾生」として活動に参加しました。この塾で私が感じたことはたくさんあってなかなか書けませんが、今特に思うことはメンバーの“発想力”のすごさです。

「長崎伝習所まつり」に向けて、だいたい半年ぐらい前から「メンバー塾生」と準備してきました。その中でメンバーがやりたいことを出してもらい、何をするのかを考えていきました。その提案は、私では思いもよらないものばかりでした。

そもそもこの塾自体ほかの塾と比べて、はっきりとしたゴール的なものは見えにくいものだと感じています。だから私が「長崎伝習所まつりで何をしたいか？」と言われたら、過去の伝習所でやったことを調べて、それと同じようにやろうとしていたと思います。しかしメンバーは、それぞれ「好きな劇」や「カードゲーム大会」、「マッサージコーナー」、「模擬店」などを提案していき、それを「長崎伝習所まつり」でできるように準備をしています。

「長崎伝習所まつり」本番では、彼らのいいところが存分に発揮でき、素晴らしいものになっていることを願っています。

発見！実現！ 体験楽習塾

塾長	吉田 伸吾				
1	池原 悠	21	田中 奈々美	41	山本 アキ
2	井上 裕士	22	塚崎 悠一	42	山口 美喜子
3	岩下 葵	23	堤 隆祐	43	山口 良平
4	内田 結佳	24	津曲 咲希	44	藪本 ゆかり
5	江頭 雄一	25	津田 結花	45	横尾 真利子
6	太田尾 幸宏	26	中原 健吾		
7	小川 伸弥	27	中村 宏平		
8	上西 章人	28	中村 光		
9	神谷 仁人	29	長田 拓也		
10	川良 青惟	30	橋本 尚史		
11	空閑 淳子	31	平野 由梨		
12	久保 拓也	32	東 基生		
13	小柳 潤	33	深堀 達也		
14	坂本 大樹	34	松井 匠		
15	佐々木 綾	35	松島 舞理		
16	佐々木 瞳	36	馬渡 由季		
17	首藤 梢	37	宮崎 泰誠		
18	瀧野 祥央	38	村上 宏樹		
19	田苗 博揮	39	村瀬 周太	事務局員	障害福祉課 栗浦 恵美
20	田中 直子	40	矢野 優介		